

**日本遺伝子診療学会  
遺伝子診断・検査技術推進フォーラム  
活動への参加のご案内**

**2019年8月（改訂）**

日本遺伝子診療学会 事務局  
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル  
株式会社 毎日学術フォーラム内 日本遺伝子診療学会事務局  
Tel: 03-6267-4550 Fax: 03-6267-4555  
E-mail: maf-gene@mynavi.jp

# 遺伝子診断・検査技術推進フォーラム活動について

## 趣意書

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は、日本遺伝子診療学会の活動につき格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

日本遺伝子診療学会では、2010年に遺伝子診断・検査技術推進フォーラム委員会を設置し、本学会主催の公開シンポジウム及び関連学会との協賛シンポジウムを開催することで、遺伝子診断や遺伝子関連検査を取り巻く様々な課題を明らかにし、それらの解決に向けた取り組みあるいは提言活動を進めております。つきましては、遺伝子診断・検査技術推進フォーラム委員会の活動趣旨をご理解いただき、積極的な賛助と参加をお願いするものであります。

謹白

2019年8月

日本遺伝子診療学会  
理事長 小杉眞司(京都大学医学部 教授)

日本遺伝子診療学会  
遺伝子診断・検査技術推進フォーラム委員会  
担当理事 中谷 中(三重大学医学部 教授)

## 遺伝子診断・検査技術推進フォーラム活動への参加のご案内

### 1. 遺伝子診断・検査技術推進フォーラム委員会

- 1) 日本遺伝子診療学会(以下、本学会)は、学会委員会として「遺伝子診断・検査技術推進フォーラム委員会」(以下、本委員会)を設置し、遺伝子診断・検査技術推進のためのフォーラム活動の企画及び運営を主導すると共に、遺伝子診断・検査技術の適切な普及を推進する。
- 2) 日本遺伝子診療学会は、本委員会を適切に運営するために担当理事を任命する。
- 3) 担当理事は、遺伝子診断・検査技術推進フォーラム活動を円滑に推進するために、本学会員及びフォーラム賛助会員団体・企業より1名を委員に任命し学会理事会の承認を得る。
- 4) 担当理事は、本委員会委員に加え遺伝子診断・検査技術推進フォーラム活動の趣旨に賛同しフォーラム賛助会員となった団体・企業、及びフォーラム個人会員より選任された委員により構成される「遺伝子診断・検査技術推進フォーラム実行委員会」(以下、フォーラム実行委員会)を組織する。尚、フォーラム賛助会員の各団体・企業からは3名までをフォーラム実行委員会に参加できる。
- 5) 本委員会の委員長は、本委員会委員の自薦・他薦により候補者を募り、本委員会委員の互選により選出され、学会理事会の承認を得て任命される。
- 6) 本委員会の担当理事及び委員長の任期は原則2年とする。但し、本学会理事長は任期を延長することができる。

### 2. 遺伝子診断・検査技術推進フォーラム活動の目的と内容

#### (1) 主な活動目的と内容

- 1) 遺伝子関連検査の普及及び実用化に関わる課題の明確化とその解決へのコンセンサス作りを目的として、遺伝子関連検査に関わる学会・団体等の組織横断的な連携を促進する
  - ・ 関連する組織・団体及び関連する企業、業界団体にも本活動への参加を求め、開かれた場での課題の抽出と対策案の討議等を行う。
  - ・ 被検者(患者・市民等)の、遺伝子関連検査に関する正しい理解を促進する。
- 2) 遺伝子関連検査の適切な開発と運用のための学術情報提供活動の推進
  - ・ 診断薬/医療機器/製薬などの関連企業、バイオベンチャー等に対して、遺伝子関連検査全般に関する技術/学術情報の共有と情報交換の場の提供し、技術開発と実用化を推進する。(シーズとニーズのマッチング)
- 3) 遺伝子検査の外部精度管理手法の検討
- 4) 遺伝子検査の実施・運用に関する標準化の促進
  
- 5) 公開シンポジウム及び協賛シンポジウムのプログラム企画と開催運営

上記の 1) ~ 4) の主な活動を推進することを目的として、本委員会主催の公開シンポジウム及び本学会あるいは関連学会との共催シンポジウム等を企画・開催し、様々な課題を公開で議論し、課題解決に向けたコンセンサス作りと提言を行う。

## (2) これまでの活動内容 (2019 年 8 月現在)

フォーラム活動の主な活動として、2011 年より毎年 12 月 1 週目に終日の公開シンポジウムを開催しており、2018 年は「ゲノム医療の社会実装」をテーマに、希少疾患、がんゲノム医療、検体検査の精度管理に関する 10 講演、パネルディスカッションを行った。医療従事者、企業、研究者等多岐にわたり約 300 名の参加者を得ている。各講演はシンポジウム時の抄録集の作成とともに、2013 年からは後日臨床病理レビュー特集号として論文化され記録としても留まっている。

### 【これまでの公開シンポジウム実績(12 月開催)】

開催年	テーマ	備考
2011	抗がん剤創薬のためのバイオマーカー開発と診断技術の現状	日本がん分子標的治療学会との合同シンポジウム
2012	個別化医療を進めるための課題と今後の展望	品川ココヨホール
2013	個別化医療を進めるために ~ 具現化にむけた課題の克服 ~	品川ココヨホール
2014	個別化医療を進めるために	品川ココヨホール
2015	個別化医療の新展開に向けて	品川ココヨホール
2016	ゲノム医療をめぐる最近の動向	品川ココヨホール
2017	ゲノム医療の新展開	品川ココヨホール
2018	ゲノム医療の社会実装	コングレススクエア日本橋

### 【公開シンポジウム記録集の編纂】



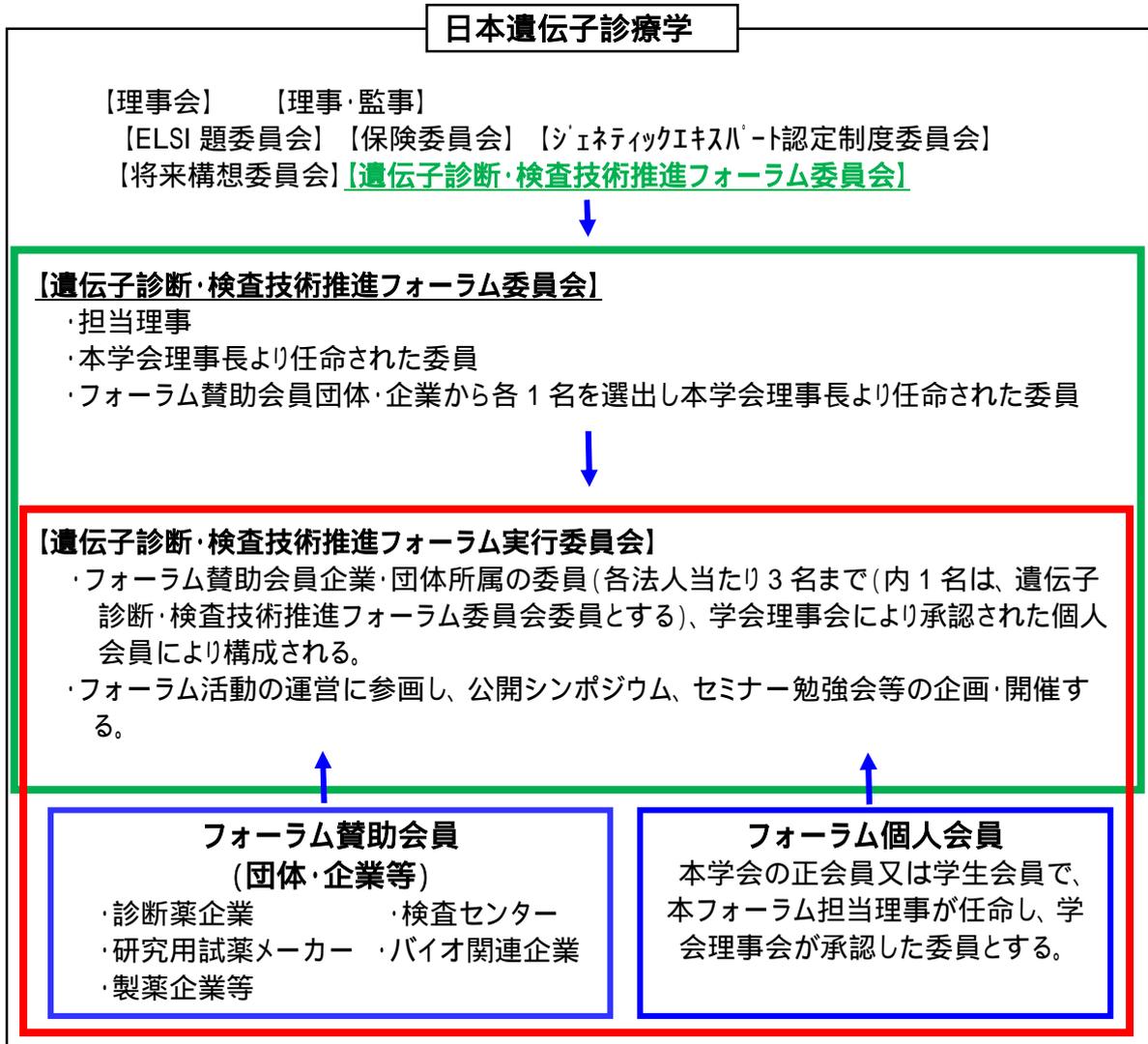
## 【日本遺伝子診療学会での共催シンポジウム実績】

開催年月	テーマ	備考
2010年8月	ファーマコゲノミックス検査の展望と課題	津市
2011年6月	ファーマコゲノミックスの臨床応用とその展望	京都市 日本遺伝カウンセリング学会、日本家族性腫瘍学会合同集会
2012年7月	ファーマコゲノミックスによる個別化医療の現況と展望	千葉市
2013年7月	個別化医療の新展開に向けて -GWAS・CGH・NGSの活用-	浜松市
2014年11月	個別化医療を進めるために -分野を超えた課題解決への取り組み-	東京都 人類遺伝学会合同集会
2015年7月	これからの遺伝子検査における品質・精度の課題と企業の取り組み	横浜市
2016年10月	ゲノム医療実用化の推進に向けた課題	東京都
2017年7月	遺伝子関連検査の質保証について	千葉市
2018年7月	医療法改正に伴う臨床検査の精度管理	三重県伊勢島市
2019年8月	遺伝性疾患をいかに検査するか？	札幌市 日本遺伝カウンセリング学会合同臨床遺伝2019 in Sapporo

## 【他学会との主な共催シンポジウム実績】

開催年月	開催学会	テーマ
2012年11月	第59回日本臨床検査医学会学術集会	個別化医療の実践
2012年11月	第33回日本臨床薬理学会学術総会	生活習慣病におけるGWASからPGXに基づいたClinical Practiceまで
2013年11月	第60回日本臨床検査医学会学術集会	コンパニオン診断は有用か？
2014年11月	第61回日本臨床検査医学会学術集会	個別化医療：臨床応用への歩み
2014年11月	第59回日本人類遺伝学会	個別化医療を進めるために～分野を超えた課題解決への取り組み～
2015年11月	第55回日本臨床化学会	ゲノム医療を進めるための人材育成
2015年11月	第62回日本臨床検査医学会学術集会	個別化医療の推進「リキッドバイオプシー」：将来展望と課題
2016年9月	第63回日本臨床検査医学会学術集会	NGSを活用した臨床シーケンスの現状と課題
2017年11月	第64回日本臨床検査医学会学術集会	多様化する病院検査室の遺伝子関連検査

日本遺伝子診療学会 遺伝子診断・検査技術推進フォーラム活動  
の位置づけと運営体制



### 3. 遺伝子診断・検査技術推進フォーラム実行委員会への加入手続き

#### (1) フォーラム賛助会員（団体・企業等）への加入手続き

- 1) 遺伝子診断・検査技術推進フォーラム活動に参加を希望する団体・企業等は、日本遺伝子診療学会の遺伝子診断・検査技術推進フォーラム賛助会員（以下、フォーラム賛助会員）として登録を行う。
- 2) フォーラム賛助会員として登録を希望する際には、所定の申込書に必要事項を記載し、学会事務局経由で学会理事会に対して参加の申し込みを行う。
- 3) フォーラム賛助会員年会費 500,000 円には、本学会の特別賛助会員年会費：150,000 円と、遺伝子診断・検査技術推進フォーラム実行委員会の運営支援費：350,000 円が含まれる。
- 4) 申し込み先  
日本遺伝子診療学会 事務局  
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル  
株式会社 毎日学術フォーラム内 日本遺伝子診療学会事務局  
Tel: 03-6267-4550 Fax: 03-6267-4555 E-mail: maf-gene@mynavi.jp

#### (2) フォーラム賛助会員の特典

- ・ フォーラム賛助会員は、学会ホームページにバナー広告を無料で掲載できる等、別紙「各種賛助会員団体・企業のメリット」に示す特典がある。
- ・ フォーラム賛助会員は、フォーラム実行委員会に3名を限度として委員を選出できる。（内1名は、学会委員会である遺伝子診断・検査技術推進フォーラム委員会委員とする）
- ・ 年1回開催する、遺伝子診断・検査技術推進フォーラム 公開シンポジウムにおいて自社製品等に関する関連資料の配布、抄録集への広告掲載、昼食時に開催されるコーポレートセミナーで自社製品等に関するプレゼンテーション等を行うことができる。
- ・ 遺伝子診断や検査技術等に関するワーキンググループを設置する際に、3名を限度として委員を選任できる。
- ・ フォーラム企画委員会の委員は、外部講師等を招聘した研究会・勉強会等\*に参加することができる。  
（\* フォーラム実行委員会が開催する研究会・勉強会等は、原則としてフォーラム実行委員会委員のみが3名を限度として参加できる。）

#### (2) フォーラム個人会員の申し込み

本学会の正会員又は学生会員で遺伝子診断・検査技術推進フォーラム実行委員会に参加を希望する個人は、所定の申込書に必要事項を明記し、学会事務局経由で学会理事会に対して参加の申し込みを行う。

申込み先:

日本遺伝子診療学会 事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

株式会社 毎日学術フォーラム内 日本遺伝子診療学会事務局

Tel: 03-6267-4550 Fax: 03-6267-4555 E-mail: maf-gene@mynavi.jp

返信先：FAX 03-6267-4555

遺伝子診断・検査技術推進フォーラム  
フォーラム賛助会員 / (フォーラム個人会員)  
申込書

年 月 日

下記の通り申込みます。

御社名			
部署	部	課	
フリガナ		役職	
ご担当者			
所在地	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
会員の種別	フォーラム賛助会員	フォーラム個人会員 (会員番号： )	

\* 会員の種別については、フォーラム賛助会員(法人・業界団体等を含む)かフォーラム個人会員かのいずれかを選択してください。

遺伝子診断・検査技術推進フォーラムへの期待

事務局使用欄

受付日		受付 No.		請求書発行日	
-----	--	--------	--	--------	--

\* 日本遺伝子診療学会 事務局  
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル  
株式会社 毎日学術フォーラム内 日本遺伝子診療学会事務局  
Tel: 03-6267-4550 Fax: 03-6267-4555 E-mail: maf-gene@mynavi.jp